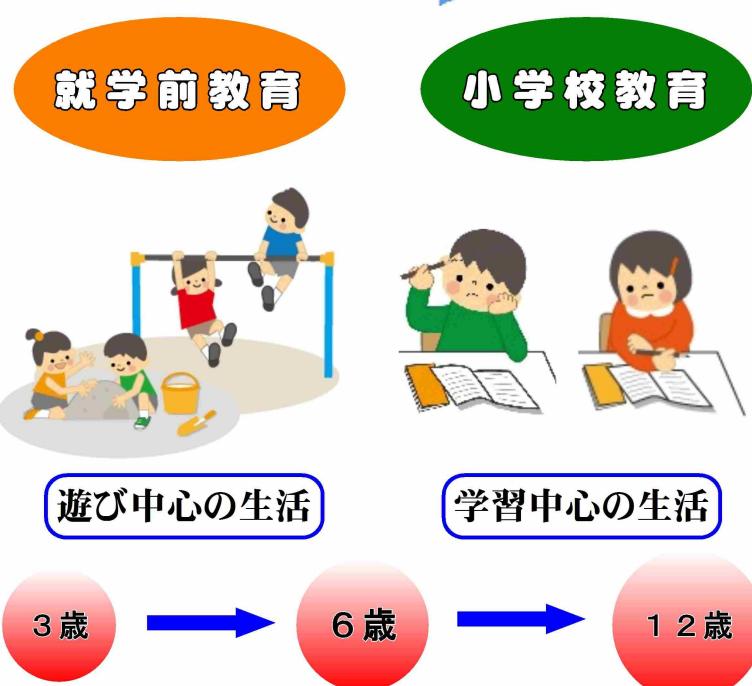




今回の「ともなび」では、保育園、幼稚園と小学校との学びの段差をなくし、スムーズに接続するための取り組みを紹介します。



## スムーズな接続



この1年間、「互いのことを知る」を合言葉に互いの保育や授業の参観、児童・児童の交流、研修会などを積極的に行い、互いの保育や教育について理解を深めてきました。その中で、

①遊び中心の生活から教科学習中心の生活へ  
②時間割に基づく生活へ  
③自力での登下校  
④施設設備等の違い

など、子どもの目線から見ると、様々な学びの段差があるといったことが分かりました。

## 円滑な接続を図る 「接続カリキュラム」 作成にむけて…



▲園児と小学生が楽しく交流

就学前教育と小学校教育の様々な段差をなくし、円滑に接続していくために、教育委員会では保幼小接続事業に取り組んでいます。

## 保育園・幼稚園と

保幼小接続事業の取り組み

# 学びの段差をなくす スムーズな接続を

つまづなげることが大切です。そのため井原市では、小学校区単位での「接続カリキュラム」を作成しています。その中で、保幼小の職員が、小学校はゼロからのスタートではないという発想を持つことで、児童期で身に付けた育ちや学びを小学校で連続して指導できるということを研修会でも再確認しました。

## 家庭では

### 子どもの気づきを 大切に

入学前の子どもたちには、期待に胸を膨らませ、「小学生になる」という自覚が芽生えています。この時期に保育園・幼稚園と保護者の方が協力することで、さらに充実した時期になってしまいます。例えば、できていないことを無理に教え込んでさせるのではなく、子ども自身が気付いて自分から進んでできるように環境を整えることや、できるだけになりたいことをしっかり認めてほめるといったことをする」とことで、自信をもって4月を迎えることができます。

また、今一度、生活習慣を見直すことも大切です。

かねてより建設を進めていた青野小学校の管理棟が、12月5日に完成しました。元の校舎が木造だったこともあり、新しく建てた管理棟も鉄骨造ではありますが、木造を思わせるような外観で木のぬくもりを感じることができます。また、新しく設置した家庭科室を始め、図書室など、建物の内部にも多くの木を使用しており、落ち着いた雰囲気で学習ができる環境となっています。

環境への配慮では、断熱効果にすぐれたペアガラスやLED照明を採用しました。

冬休みには引っ越しを終え、3学期からは新しい校舎で授業が始まっています。

新しい校舎がこれからも地域に愛される存在であり続けることを期待します。

# 井原市立 青野小学校

## 管理棟が 完成しました



▲ふんだんに木材を使用した内装

## 盛大に落成式

1月14日には、来賓や地域の方、保護者のみなさんなど約150名が出席して、盛大に落成式が行われました。

式典では、新しい校舎完成の喜びや期待を胸に、児童が与一太鼓の演奏や校歌合唱、お礼の言葉で、式典に華を添え、会場は感動の渦に包まれました。



▲色とりどりの風船が空を舞った落成式

# 竹工芸の人間国宝 勝城蒼鳳展を開催

4月28日(金)～6月18日(日)



田中美術館では、本市の友好親善都市である栃木県大田原市在住の人間国宝（国指定重要無形文化

財「竹工芸」の保持者）の竹工芸家・  
勝城蒼鳳氏の作品を展観する春季  
特別展を、次のとおり開催します。

栃木県は竹工芸の盛んな土  
地として知られ、大田原はそ  
の中心地となっています。



▲花籠「連」(栃木県立美術館蔵)

は幅広い竹工芸の技法を高度  
に体得し、重厚で堅牢な作品  
を生み出しており、その作風

は、自然の中で感じたエネル

ギーを作品に移し替えてダイ

ナミックともいえるものです。

名工の生み出した美をご堪  
能いただいくとともに、日本工

芸の水準の高さ、幅広さ、芸  
術性の高さを実感していただ

## ■アーティストトーク

### ○アーティストトーク 「自作を語る」

### ○竹のワークショップ 「おにぎり籠を作つてみよう」

### ○記念講演会「勝城蒼鳳の芸術」

### ○講師 勝城蒼鳳氏

### ○講師 東京国立近代美術館 諸山正則氏

### ○記念講演会「勝城蒼鳳の芸術」

### ○講師 諸山正則氏

### ○講師 井原市民会館 鏡獅子の間(申込・聴講料不要)

### ○講師 井原市民会館 鏡獅子の間(申込・聴講料不要)

### ○講師 東京国立近代美術館 諸山正則氏

### ○講師 井原市民会館 鏡獅子の間(申込・聴講料不要)

### ○講師 井原市民会館 鏡獅子の間(申込・聴講料不要)